

「令和5年度第1回 独立行政法人勤労者退職金共済機構契約監視委員会」の審議概要について

開催日 及び場所	令和5年6月15日(木) 勤労者退職金共済機構9階 C 会議室(Web 開催)
委員 (敬称略)	竹内 啓博(公認会計士) 田極 春美(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 山本 勲(慶應義塾大学商学部教授) 鈴木 和枝(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事) 塩田 博幸(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事(非常勤))
審査対象	令和4年11月～令和5年4月に契約締結された案件
概 要	<p>● 点検・見直しの審議について 令和4年11月～令和5年4月契約の事後点検についての審議 【競争性のない随意契約】 合計 8件 【一者応札・一者応募】 合計 56件</p> <p>【主な指摘事項等】</p> <p>(1)随意契約</p> <p>①「中小企業退職金共済事業本部ホームページの更改等業務一式」 機構が積算した工数と同等の工数を求めるのであれば、あらかじめ仕様書等にその旨を明確に記載し、見積書に工数や人員の割り当て等を記載してもらう等工夫を施すこと。また、総合評価において、業務を履行するための技術が伴っていない業者が落札することがないように、技術面における評価基準を見直すこと。 低入札価格調査の結果、不落札となった場合、調達に参加した業者と随意契約を締結するに当たっては、技術点の高さのみで業者を選定するのではなく、技術点を満たしていない業者に対しても、価格面を考慮した上で、人員を拡充する等の技術点を補う対応が可能かどうかを交渉する等のアプローチを行うこと。さらに、業者を選定する基準を定める等、適正な契約の締結となるよう配慮すること。</p> <p>(2)一者応札・一者応募</p> <p>①「特退共の入力・審査等に係る委託業務」 二者の見積りから予定価格を算出する際に、入札に参加する見込のない業者が見積った高額な金額によって予定価格が吊り上がらないよう、前回入札説明書を受け取りに来た業者からも見積りを徴取するなど、複数業者の見積りから予定価格を算出するよう努めること。 また、入札説明書を受け取りに来た業者が入札を辞退した理由について、より詳細に聴取し、次回の調達に生かせるよう原因を究明すること。</p> <p>②「建設業退職金共済証紙の印刷業務」 公正な調達ができるよう、複数業者から見積りを徴取する等是正のための取組に努め</p>

ること。

【指摘事項等に対する対応】

(1) 随意契約

①機構が最低限必要と考える工数を満たす必要がある場合は、あらかじめ仕様書等とその旨を明確に記載し、見積書に工数や人員の割当て等を記載してもらうなど、双方の認識に齟齬が生じないよう努めてまいりたい。また、総合評価において、業務を履行するための技術が伴っていない業者が落札することがないように、技術面における評価基準の見直しについて検討を行いたい。

低入札価格調査の結果、不落札となった場合、調達に参加した業者と随意契約を締結するに当たっては、技術点を満たしていない業者は評価基準に基づき足切りを行ったところであるが、技術点を満たしていない業者に対しては、どのようなアプローチが可能かを検討していきたい。

(2) 一者応札・一者応募

①二者の見積りから予定価格を算出する際に、入札に参加する見込のない業者が見積った高額な金額によって予定価格が不合理に引き上がらないよう、同様の調達で入札説明書を取りに来た実績のある業者に対して、可能な限り複数の業者から見積りを徴取し、予定価格を算出するように努めてまいりたい。

また、入札説明書を受け取りに来た業者が入札を辞退した理由について、より詳細に聴取し、次回の調達に生かせるよう原因を究明するよう努めてまいりたい。

②偽造防止措置を講じるなどの特殊な印刷物の発注のため、入札参加業者が限られる現状ではあるが、当該印刷が可能な業者を探し、可能な限り複数業者が入札に参加できるような環境整備が図られるよう努力してまいりたい。